

## 飛躍の1年となりますように 大河原町新春賀詞交歓会



▲多方面の分野の意見が聞ける絶好の機会でもあり、町の発展に繋がる有意義な時間となりました。

新年を迎え、町の発展に向けた意見を交換する「大河原町新春賀詞交歓会」が1月5日ウエディングパーク桜フロアで開催されました。

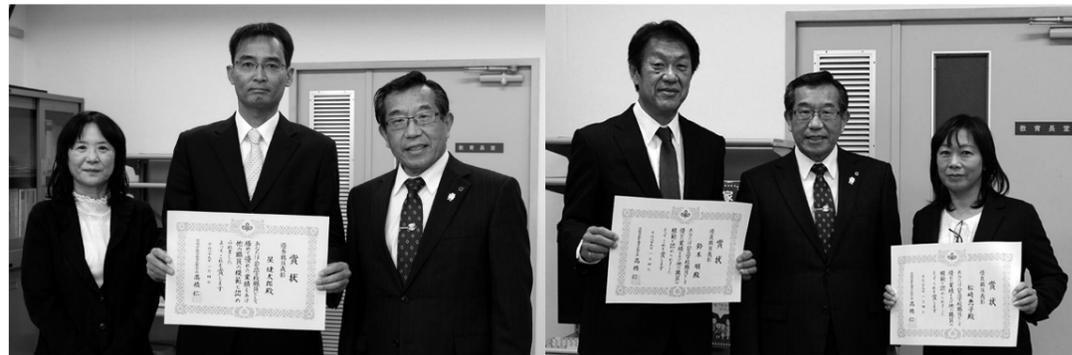
今年も町内企業や行政区長、各種団体の代表など200名以上が出席し、場内は満員御礼となりました。

冒頭の町長のあいさつでは、「一目千本桜ブランド化事業など、地域資源を活用した町全体のブランド化を、5年先10年先を見据え一つ一つ着実に実現に取り組んでまいります」と決意表明され、来賓の皆さんからも「さらなる大河原町の発展を願います」と祝辞が述べられました。その後乾杯に続き歓談が行われ、和やかな雰囲気の中、町の今後のありかたなどについて活発に意見を交わしていました。

## 教育向上が評価されました 宮城県公立学校等職員表彰

1月4日に行われた平成28年度の公立学校等職員表彰で、町内小中学校からも3名の職員が表彰を受けました。大河原小学校の星健太郎教諭は「教科指導、学級経営における模範的指導および学校経営組織マネジメントへの貢献など」により優秀職員として表彰され、金ヶ瀬小学校の鈴木順教諭が「学力向上及び防災教育推進に対する貢献」で、金ヶ瀬中学校の松崎恵子教諭が「国語力向上を目指した作文指導の工夫への実績など」により優良職員として表彰されました。町内児童生徒の教育推進に大きく貢献していただいています。

▶大河原小学校丸山校長(左)、星教諭(中央)、齋教育長(右)。



▶鈴木教諭(左)、齋教育長(中央)、松崎教諭(右)。

## 願いを込めて空高く 駅前商店会「第34回手作りたこあげ大会」

今年で34回目を迎える駅前商店会主催の「手作りたこあげ大会」が、1月8日、白石川右岸河川敷公園で開催されました。

寒空のなか、立体型や連だこ、アニメのキャラクターが描かれているものなど、様々な手作りのたこを持ち寄り多くのかたが参加していました。当日は風が少なかったため、たこを揚げるために全力疾走するなど、皆さん苦戦しているようでしたが、その分上手く揚がった時には「揚がった!」「すごい!」など歓声が上がっていました。

また、会場の一角ではカップラーメン食べ放題や餅つき大会も行われ、参加者のかたに喜ばれていました。



▲上手くたこが揚がった時には、他の参加者からも歓声が上がっていました。



▶狙いを澄まして 見事命中!

## 親子で楽しむ正月遊び

### お正月の遊びとお話の会

1月8日、オーガ2階イベントホールで「お正月の遊びとお話の会(主催:駅前図書館)」が開催されました。

前半は読み聞かせボランティアの皆さんによる絵本や紙芝居の読み聞かせが行われ、ボランティアのかたの抑揚のある話し方に子どもたちは真剣に聴き入っていました。また、読み聞かせだけでなく、パネルを使ってのうた遊びや手遊びも行われ、参加者のかたも一緒になって歌っていました。

後半はお正月遊びが行われ、普段見慣れないコマやけん玉、羽根つきに福笑いなどの伝統的な遊び道具や手作りの輪ゴムてっぽうに子どもたちは興味津々で、お父さんやお母さんに使い方を教わりながら夢中になって遊んでいました。



▶珍しい紙芝居に子どもたちは熱心に聴き入っていました。

## 投票しよう未来のために

### 大河原小学校「選挙出前講座」

1月19日、大河原小学校6年生を対象に、選挙の仕組みや意義を学ぶ「選挙出前講座(主催:大河原町明るい選挙推進協議会・大河原町選挙管理委員会)」が開催されました。

講師は町選挙管理委員会の職員が担当し、なぜ選挙を行う必要があるのか、選挙の制度や歴史などについて、簡単なクイズを交えながらわかりやすく解説しました。また、若者の投票率が低いことや、それによって若者の意見が聞けなくなってしまうことの説明を受け、児童は選挙の大切さを学んだようでした。

講座の途中では、旅行の行先を題材にした模擬選挙も行われました。実際の選挙で使用される記載台と投票箱を使った本格的なもので、児童は緊張しながら一票を投じていました。



▲自分の意見を書いた投票用紙を慎重に投じていました。

鎌田 歩/作  
絵本/まよなかのせんろ  
[アリス館]  
マルチプルタイタンパーは、毎晩、電車の走らない真夜中に、線路のゆがみを直す仕事をしています。線路を直すには、どんな作業をするのでしょうか?線路を守る車両、マルチプルタイタンパーの絵本。見返しに車両紹介等あり。

児童/宇宙を仕事にしよう!  
村沢 謙/著  
[河出書房新社]  
宇宙開発や天文学など、宇宙にかかわるさまざまな仕事をリードしている人たちにインタビュー。夢を持ったきっかけや、どんな学校に進み、どんな勉強をしてきたのか、どうやって挫折を乗り越えてきたのか分かります。

小説/国家とハイエナ  
黒木 亮/著  
[幻冬社]  
国家を喰い物にしているのはヘッジファンドか、その国の権力者か。国際NGOが強奪的金融手法と汚職を阻止しようと、国際機関に働きかけるが、恐るべき現実を描く、本格派国際金融小説。経済・金融・法律用語集付き。

一般/日本人の甘え  
曾野 綾子/著  
[新潮社]  
待機児童や貧困問題に見る国と社会への認識の甘さ、マスコミの思い上がり、他国や他民族への無理解と独善。この国の体質変化を見つめ、現代人の甘えを問い直し、人の世の道理を説く。『新潮45』連載を書籍化。

駅前図書館今月の新刊「まちの本棚」